

平成 27 年度 第 1 回 学校評議委員会 概要

平成 27 年 7 月 9 日(木) 10:00~11:45

神戸市立桜の宮小学校 会議室

1. 出席者

平田 勝彦(桜の宮小施設開放委員長)	相川 光一(桜の宮ふれあいのまちづくり協議会会長)
吉川 庸一(北鈴蘭台自治会長)	井本 涼子(桜の宮小学校・PTA会長)
井上 康代(桜の宮小学校PTA副会長)	田中利恵子(桜の宮小学校PTA副会長)
秦 重康(桜の宮中学校校長)	上村 龍弘(桜の宮児童館館長)
三海 弘晶(桜の宮小学校校長)	栗本 純也(桜の宮小学校教頭)

【敬称略】

2. 次第

- ・はじめの挨拶 (三海校長)
- ・自己紹介
- ・委嘱
- ・平成 27 年度桜の宮小学校の教育について (学校教育計画, 学校組織, 年間行事予定)
- ・オープンスクール保護者アンケートより
- ・教室の子どもの様子 (1, 3, 5 年授業参観)
- ・おわりの挨拶 (三海校長)

3. 平成 27 年度桜の宮小学校の教育について (学校教育計画, 学校組織, 年間行事予定)

【学校教育計画はホームページ学校紹介参照, 学校組織・年間行事予定は学校だより 4 月号参照】

4. オープンスクール保護者アンケートより 【学校だより 6 月臨時号参照】

5. 意見, 質疑応答

- ・今年、とても落ち着いているように思う。少しの問題でも担任からの連絡があり、解決している、安心感がある。家庭と学校との連携が大切だと思う。
- ・私は、学校に問題を感じない。子どもは今も昔も変わらないと思う。大人は、子どもに関わり、見守っていく必要がある。子どもの問題行動の背後に目を向けて指導している先生方に感謝している。
- ・自分の子どもは、「痛い目にあって、自分で学ばばいい。」と思っている。家庭では、悪いニュースを取り上げて、親としての意見を子どもに伝えている。大きくなってくると、信じるしかなくなってくる。
- ・オープンスクールアンケートにいじめに関する項目がないのはどうしてか？
→詳しく内容を調査するので、このアンケートとは別に、年に 2 回アンケートをとっている。
- ・いじめアンケートでは、子どもの受け取り方次第で、現実を反映しない結果が出てくる。人権感覚が優れたクラスでは、小さな出来事も見逃さない、結果が悪く、殺伐としたクラスでは、その逆でほとんどが、見逃され、結果としてカウントされない。

→数値だけを見るのではなく、多角的に掘り下げ、判断していく必要がある。

→誤解を生まないためにも、発信する側が問いや結果説明に工夫をする必要がある。

・教師との交換ノートはあるのか？

→ない。

- ・隠れたところでいじめが起こる。昔は正義感を持ったガキ大将がいたが、今はいない。リーダーシップのとれる子どもを育てていかなければならない。
- ・学校でも、家庭でも言葉数の少ない子どもがいる。学校と家庭との連携が、そのような子どもを救うことにつながる。
- ・「いじめ」に関して、絶えず教師からの発信が必要である。
- ・このようなアンケート結果を資料としてまとめていただけてありがたい。ただ、数値にかくれてしまう事実もある。保護者の生の声が出ている記述部分を大切に扱ってほしい。アンケート結果をもとに、学校、保護者、地域で話し合いをし、共通の認識を持って子どもの教育に臨んでほしい。
- ・小さな学校で真面目に、積極的に教育をしていると思う。ただ問題がないかと言えば、そうではない。例えば、歩道に広がって歩いている子どもがいる。声をかけると、道を開けたり、「ごめんなさい。」と謝ったりする。「広がって歩かない」というところまでには、至っていない。
- ・県道には、空き缶、ペットボトル、ごみ（お菓子の包装紙）が散乱している。おそらく、高校生以上のものと思われるが、小学校段階で、ルールを守ること、他人に迷惑をかけないことを繰り返し指導してほしい。
- ・近隣の高校生による喫煙は減った。挨拶もできてきている。
- ・若葉台3丁目の峠公園のごみは、以前より減ってきてはいるが、気になる。小学校でも指導してほしい。
- ・北山公園は、閑散としている。防犯上気になるので、子どもの声がするときには、見に行くようにしている。
- ・「いじめ」につながるような言動が見られる。「これは、いじめになるよ。」「そんな人になりたいんかなあ。」と問いかけ、常に指導している。
- ・人を傷つけるようなひどい言葉が、子どもから発せられることもある。人権意識を高く持ち、そのような言葉を聞きもらさないことが大切である。
- ・保護者が気楽に話すことで、つながりができてくる。保護者、地域が学校の応援団でありたい。そうなれば、学校はもっとよくなる。子どもも育つ。
- ・ガキ大将はいない。リーダーもいない。数年前より子ども達は均一化されている。
- ・ネットに関する問題は、昔とは違う状況である。細心の注意が必要である。
- ・中学では、スクールミーティングを行い、保護者、地域とのつながりを図った。また、学期末に関わらず、球技大会を行い、保護者の参観も得た。学校を理解していただく機会として、このような機会の参加者を増やしていきたい。